

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 25 号

第 25 週 (6 月 19 日 ~ 6 月 25 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 6 月 30 日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

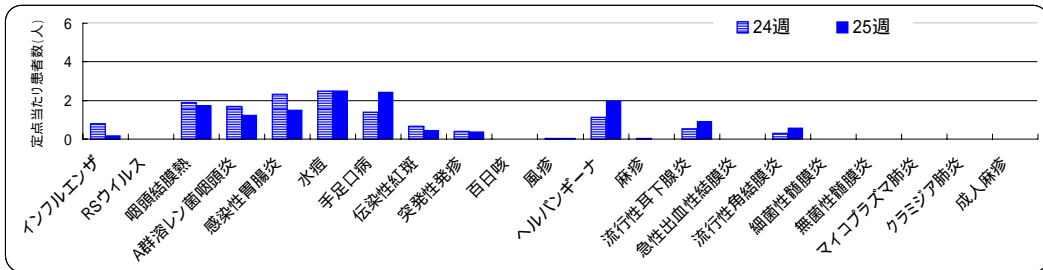
今週の感染症発生動向

手足口病の発生は急増!! 特に長浜保健所管内で増加傾向

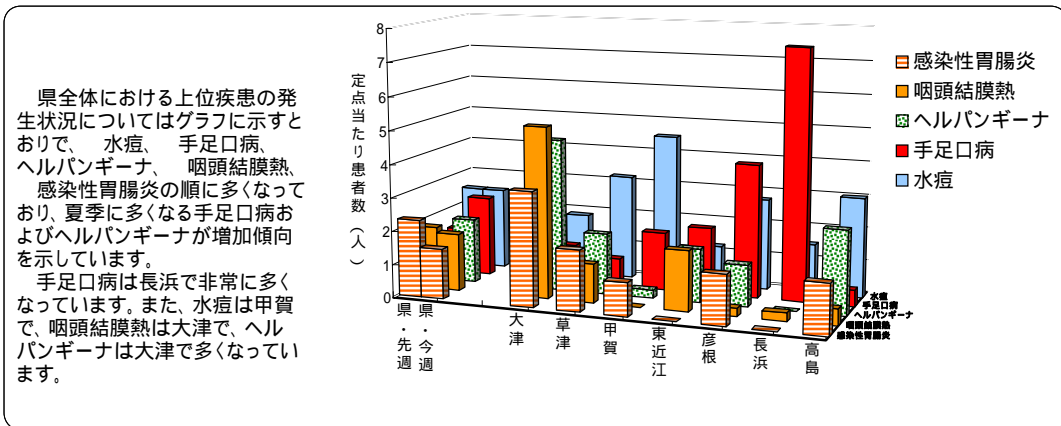
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(6月12日~6月18日)の報告数よりやや少なくなっています。増加した疾患は手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎および流行性角結膜炎です。特に、手足口病は長浜保健所管内で3週連続して増加しており、定点当たり患者数は非常に多くなっています。また、減少した疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症5名、五類感染症の後天性免疫不全症候群1名および梅毒1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第25週、定点当たり患者数)



感染症のミニ知識 ~ 手足口病 ~

手足口病は、コクサッキーA群ウイルス(CA16、CA10など)、エンテロウイルス(EV71など)に感染することにより起こります。主に幼児(4歳までぐらい)を中心として夏季に流行する急性ウイルス感染症で予後は良好です。しかし、急性髄膜炎、急性脳炎を合併することもあり、特に、EV71による場合には中枢神経系合併症に注意する必要があります。

- ・**感染様式**: 飛沫感染、経口感染、接触感染
- ・**潜伏期**: 3~5日
- ・**臨床症状**: 口腔粘膜、手、足などに2~3mmの水疱性発疹ができます。また、軽度の発熱(38 以下)がみられることもあります。
- ・**合併症**: まれに急性髄膜炎、小脳失調症、急性脳炎、心筋炎、AFP(急性弛緩性麻痺)等を起こします。
- ・**治療**: 対症療法
刺激の強い食事を避け、柔らかい食べ物や水分(薄いお茶、スポーツ飲料など)を摂るようにします。
- ・**予防**: 患者に近づかない、手洗いを十分にする、患者や回復者にも排便後の手洗いを徹底させることが大事です。
- ・**登校、登園のめやす**: 患者の健康状態により判断すればよいと考えられています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (25週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (25週)	全国 (25週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	204	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	42	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5	13	742	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	34	0	40
	A型肝炎	0	1	208	1	168
	オウム病	0	0	15	1	34
	デング熱	0	0	19	1	73
	マラリア	0	0	24	0	66
	レジオネラ症	0	5	177	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	4	313	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	111	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	79	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	63	0	60
	後天性免疫不全症候群	1	7	572	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	41	0	81
	梅毒	1	3	285	0	555
	破傷風	0	0	35	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	37	2	65
	急性脳炎	0	1	91	2	180

- *1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 *2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
 *3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第25週(6/19～6/25) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 23例
二類感染症: 細菌性赤痢 5例	レジオネラ症 7例	ウイルス性肝炎 2例
コレラ 1例	つつが虫病 15例	劇症型溶血性
腸チフス 1例	日本紅斑熱 1例	レンサ球菌感染症 3例
三類感染症: 腸管出血性	エキノコックス症 1例	梅毒 8例
大腸菌感染症 67例	五類感染症: アメーバ赤痢 5例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例
四類感染症: A型肝炎 4例	ジアルジア症 2例	急性脳炎 3例
オウム病 1例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.0となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第20週～25週、5/15～6/25)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	20週	21週	22週	23週	24週	25週	週					
	(5/15～)	(5/22～)	(5/29～)	(6/5～)	(6/12～)	(6/19～)	21	22	23	24	25	
インフルエンザ	0.69	0.94	1.21	0.71	0.80	0.16						
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	1.09	1.84	1.44	1.91	1.88	1.72						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.47	1.44	1.97	1.72	1.69	1.22						
感染性胃腸炎	4.28	4.03	3.63	2.66	2.31	1.50						
水痘	1.66	1.81	3.09	2.84	2.47	2.47						
手足口病	0.38	0.25	0.56	0.88	1.38	2.41						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.31	0.38	0.78	0.53	0.66	0.44						
突発性発疹	0.53	0.31	0.31	0.59	0.41	0.38						
百日咳	0	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0.03	0.03	0.03						
ヘルパンギーナ	0.31	0.53	0.53	0.97	1.13	1.94						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0.03	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.31	0.53	0.84	0.66	0.53	0.88						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.29	0.86	0.57	0.14	0.29	0.57						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

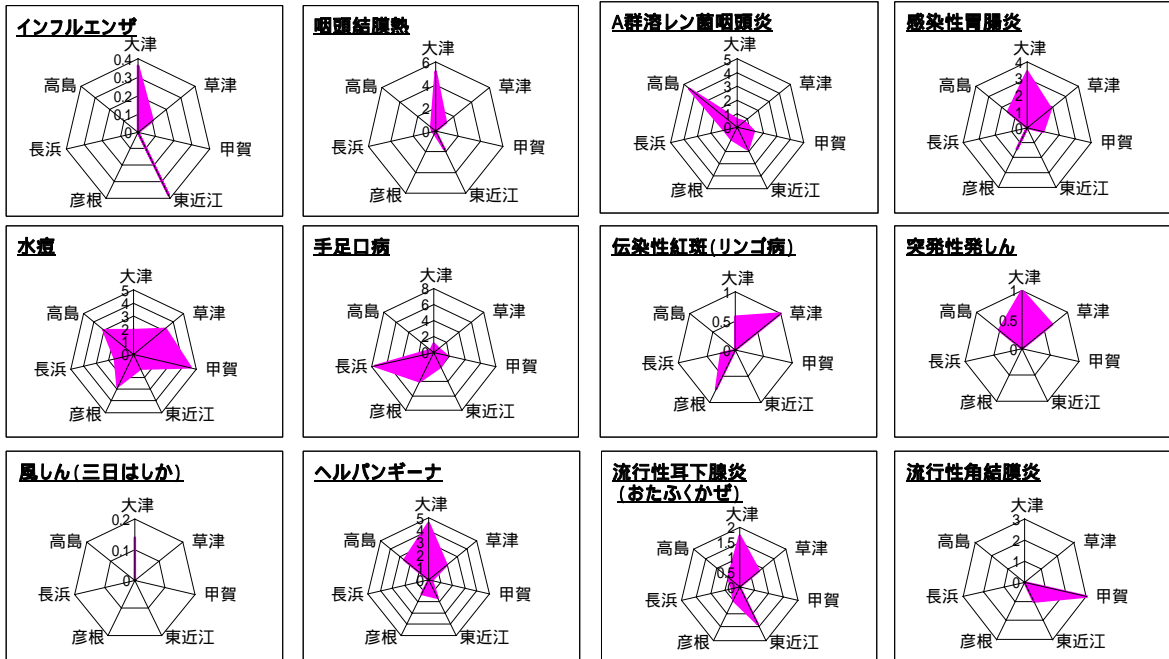
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第25週, 6/19~6/25)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.16	0.36	0.10	0	0.38	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.72	5.14	1.17	0	1.80	0.25	0.25	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.22	0.57	0.67	1.25	1.80	1.00	1.00	4.50	
感染性胃腸炎	1.50	3.43	1.83	1.00	0	1.50	0	1.50	
水痘	2.47	1.86	3.17	4.50	1.20	2.75	1.50	3.00	
手足口病	2.41	1.14	0.83	1.75	2.00	4.00	7.50	0.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.44	0.57	1.00	0	0	0.75	0.25	0	
突発性発しん	0.38	1.00	0.67	0	0	0	0	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.94	4.57	1.83	0.25	1.60	1.25	0	2.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.88	1.71	0.83	0	1.40	0.50	0.25	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	0	3.00	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

緑色は定点当たり患者数が先週より増加、赤色は定点当たり患者数が非常に多い状態

0 1 2 3
定点当たり患者数(人)

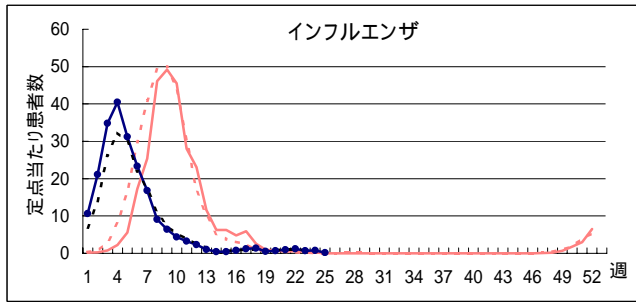
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



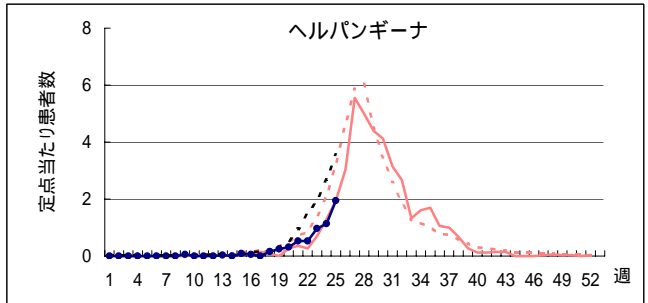
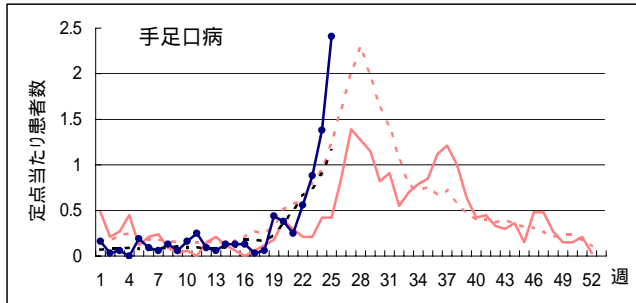
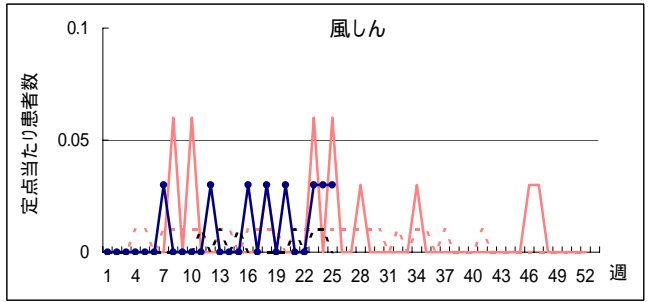
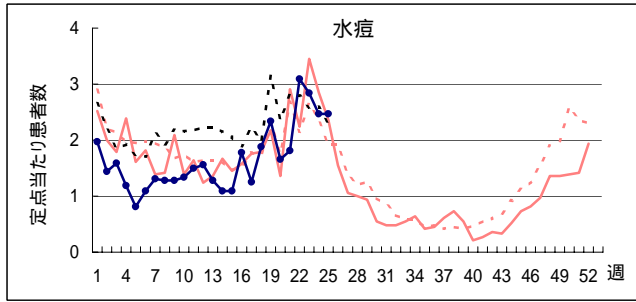
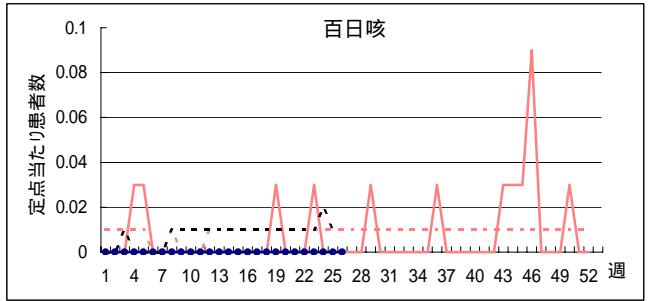
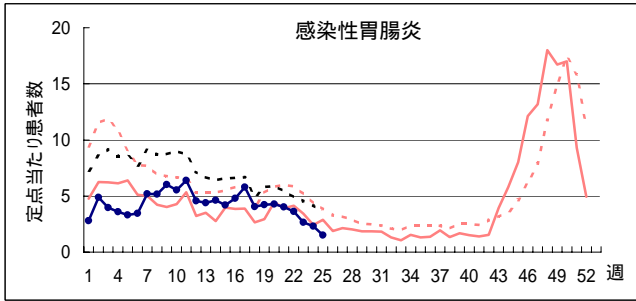
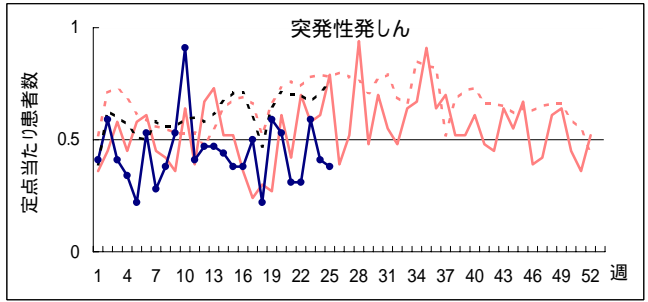
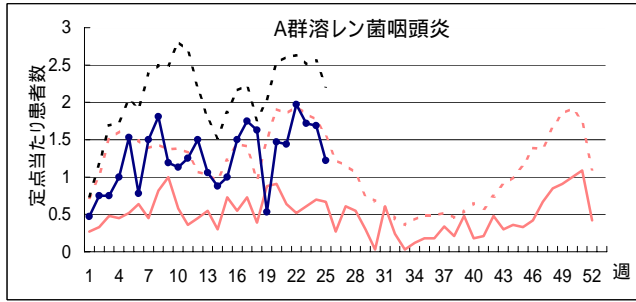
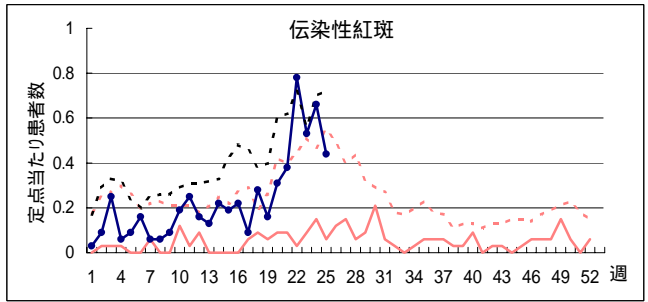
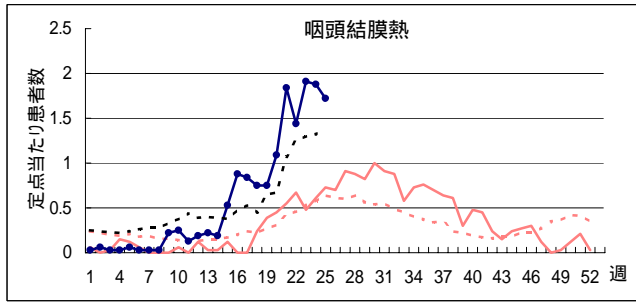
今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----すべての保健所管内で先週より減少し、県全体の定点当たり患者数は0.16となっています。
- 咽頭結膜熱-----県全体では先週より減少していますが、大津における定点当たり患者数は5.14と非常に多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎----高島における定点当たり患者数は先週よりかなり減少していますが、まだ4.50と多い状態が続いています。
- 感染性胃腸炎-----すべての保健所管内で先週より減少しています。
- 水痘-----彦根および高島で先週より多くなっています。また、甲賀では先週に引き続き多い状態となっています。
- 手足口病-----ほとんどの保健所管内で先週より増加し、特に長浜では定点当たり患者数が7.50と非常に多くなっています。また、1~4歳における年齢別発生割合は全体の80.5%を占めており、各年齢ともほぼ均等に発生しています。
- 伝染性紅斑-----県全体では先週より減少していますが、草津で先週よりやや多くなっています。
- 突発性発しん-----県全体では先週とほぼ同様の発生状況ですが、大津で先週よりやや多くなっています。
- 風しん-----大津から報告されています。
- ヘルパンギーナ-----甲賀および長浜以外で先週より増加しています。
- 流行性耳下腺炎-----大津および東近江でやや多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----甲賀および東近江から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第25週、H18.1.2～H18.6.25)



H17 { 滋賀 ————
 全国
 H18 { 滋賀 ●——●
 全国



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第25週、H18.1.2～H18.6.25)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

